



# 消費生活情報紙 すばいす

令和3年10月  
(2021年)

第132号



消費生活情報ラジオ

「大事な人を見守り隊!」消費生活センターお役立ち情報

平日午前8時台と午後5時台に『FMHOT83.9MHz』にて放送中!!



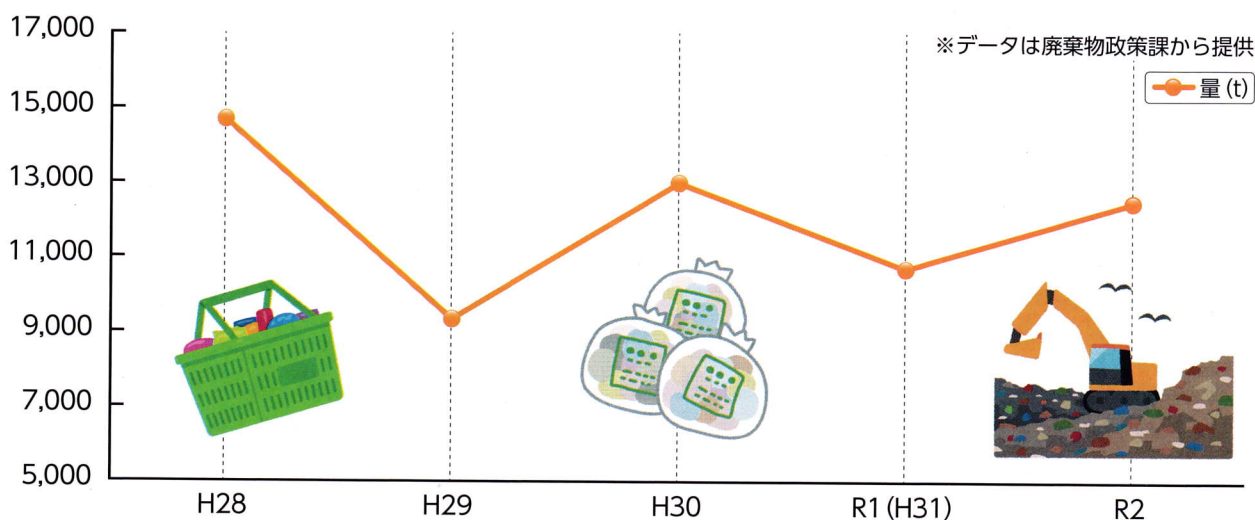
公式アプリ  
「FM プラプラ」

## いまさら聞けない…「SDGs」についておさらい!

最近では「SDGs (エスディーゼズ)」という言葉を目にする機会もだいぶ増えました。「SDGs」の正式名称は、「Sustainable Development Goals」であり、日本語にすると「持続可能な開発目標」となります。

これは、2030年3月までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、2015年9月に国連サミットで採択されました。

SDGsは17個のゴール(目標)と169個のターゲットによって構成され、地球上の「誰一人取り残されない」ことを誓い、日本においても積極的に取り組んでいます。



グラフは、相模原市における過去5年間の家庭からでた「食品ロス」の量の推移です。令和2年度は、12,459t(トン)の食品が捨てられました。相模原市の人口は約72万人なので、単純計算で一人当たり年間17kg廃棄していることとなります。平成30年度の農林水産省の調査では、国民一人あたりのお米の消費量は年間53.5kg(キログラム)となっていますので、およそ1/3を廃棄していることとなります。



国どうしの  
取組でしょ?!

…いえ、  
一人一人の行動が大切です!!



これらの取り組みは、「どこか遠いところで行われている自分には関係のないこと」のようにも感じてしまいがちですが、実は身近な一つ一つの行動を積み重ねて達成できるものが多く、地球上に生きるすべての人が対象であり、その行動がとても重要です。

まずは、こんな取組から始めてみましょう!

SDGsの17個のゴールのうち12番目には「つくる責任、つかう責任」という項目があります。

その中に食品ロスの問題が含まれています。食品ロスとは、食べることができるのに廃棄されてしまう食品のことを言いますが、日本の食品ロスの量は612万トン、そのうち家庭から出るものが284万トンにもなっています。一人当たり、毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている計算になるそうです。




食品のお買い物の中には、すぐに食べるものであれば陳列棚の前から取るというような行動も、お店の食品ロス削減につながります。

一人ひとりの意識をほんの少しだけ変えることが、持続可能な世界をつくることに結びついていることとなります。

**食品ロスをなくす3つの行動**

- 期限内に食べきれない量の食品を買わない
- 食べられる分だけを調理する
- 家にある食材をチェックして献立を考える



消費生活にかかわる安全・安心情報をお届け!  
相模原市消費生活LINEマガジンを配信中!

LINEマガジンの登録方法

- 1 右記QRコードを読み取り、アカウントを登録
- 2 トーク画面の「受信設定」から受信する内容を選択
- 3 「防犯」のうち「契約トラブル・悪質商法(消費生活情報)」にチェックを入れて登録



【相模原市LINE公式アカウント】QRコード

メールマガジンを希望する方はこちら



相模原市ホームページ「相模原市消費生活メールマガジン新規登録方法」QRコード

令和3年4月1日に移転しました  
消費生活総合センター

相談専用ダイヤル 毎日 午前9時～午後4時  
☎042(775)1770 ※第2・第4金曜日は午後6時まで ※土・日・祝日は正午～午後1時はつながりません  
緑区橋本6-2-1シティ・プラザはしもと内(JR橋本駅北口イオン橋本店6F)

オンライン面談できます!

- 中央区、南区の市民相談室から可
  - 相談員と対面して相談できます
  - 端末操作は職員が行います
- 平日のみの実施です。ご利用には事前に予約をお願いします。  
まずはお電話を! ☎042(775)1770